総括

■　機能種別

主たる機能種別「一般病院２」を適用して審査を実施した。

■　認定の種別

書面審査および11月13日～11月14日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

機能種別　　一般病院２　　認定

■　改善要望事項

・機能種別　一般病院２

該当する項目はありません。

１．病院の特色

貴院は1911年に内科診療所として開設されて以来、100年以上にわたり地域医療の発展とともに歩んできた。時代の要請に応じて外科・放射線科・産婦人科・小児科などを順次拡充し、1962年に総合病院として認可を受けた。その後、社会医療法人母恋へと法人を改組し、創立100周年を機に新病院棟を完成させ、現代的な設備と快適な療養環境を備えた病院として新たな歩みを始めた。現在、急性期医療を中心に、周産期・小児医療、内科系・外科系の専門診療、救急医療、在宅支援まで幅広く展開している。特に、地域周産期母子医療センターとして産婦人科・NICU・小児科を備え、母子医療の中核を担っている。貴院の理念に基づき「医療人として組織として社会に貢献する」という使命を果たすために、全人的で温かい医療を提供する地域の中核病院として発展を続けている。

病院機能評価事業を継続して受審しており、今回の受審では、院長のリーダーシップのもと職員一丸となって改善活動を進め、その成果として多くの項目で適切との評価を得た。今後もこの取り組みを継続し、病院運営の充実と医療の質のさらなる向上に向けて発展されることを期待する。

２．理念達成に向けた組織運営

使命・理念を明文化し、行動目標・中期計画を策定し、院内外へ浸透させている。総合企画調整会議で意思決定し、運営体制を整えている。中期計画に基づき目標設定・評価・見直しを行い、職員参画と就労意欲を高めている。情報管理・活用方針を定め、責任体制、システム計画、保存管理を図っている。文書管理の責任者と仕組みを規定し、管理対象文書を台帳により一覧化している。

採用計画を策定し、多様な採用活動と定着施策で人材確保を促進している。各種規程に則り給与・人事考課・就業管理を行い、多様な働き方に対応している。衛生委員会を開催し、健康・安全・支援体制を整備している。職員意見を収集・検討し、勤務継続・働きやすさ向上施策と福利厚生を整備している。教育・研修の計画、実施、効果確認を行い、院内学習環境を充実させている。人事考課や研修支援により、職員の能力評価・能力開発を体系的に推進している。初期研修の管理と評価を行い、全職種の新人育成を計画的に進めて実施している。学生実習を受け入れ、指導・安全管理・習得度評価・承諾取得を行っている。

３．患者中心の医療

患者の権利に関する６カ条を明文化し、子どもの権利条約とともに正面玄関に掲示し、ホームページにも掲載している。患者への説明と同意は規程に基づき適切に実施し、看護師同席のもと患者の意思決定を支援している。患者・家族との診療情報の共有体制や図書室整備など、患者参加の仕組みは高く評価できる。医療対話推進者を患者相談窓口に配置し、相談の内容に応じて専門職種につなげている。個人情報に関する規程を作成し、院内掲示・ホームページ・入院案内等で職員・患者へ周知している。臨床倫理委員会を設置し、臨床倫理に関する課題について検討する体制を整えている。各種カンファレンスで、現場の倫理的課題に関する検討が多職種で行われている。

複数のアクセスやバリアフリーへの対応、施設・設備の充実など、利便性・安全性・快適性を確保している。明るく清潔な環境整備や安全設備の充実など、患者が安心できる療養空間を総合的に提供している。ホームページ、入院案内、院内各所のポスター掲示で敷地内禁煙を患者・職員へ周知し、禁煙外来を設置している。

４．医療の質

コスト削減や黒字化に向け各種取り組みを進め、優秀なアイデアを提案した者を表彰している。多職種合同カンファレンスや症例検討会が盛んに開催されており、ガイドラインを活用できる環境が整備されている。クリニカル・パスや臨床指標も運用している。患者相談窓口、意見箱の設置、メールでの問い合わせ、患者満足度調査の実施など、様々な方法により患者・家族からの意見や要望を収集している。新たな診療・治療方法の導入や薬剤の適応外使用、臨床研究についてそれぞれ審査を実施しており、学会参加や資格取得に対しては財政的支援も行っている。

病棟における医師・看護師の責任者を病棟入口に明示し、多職種で患者情報を共有しながら診療・ケアを行っている。電子カルテが整備され、診療録等記載マニュアルに基づきSOAP形式による問題指向型診療録が作成され、各種記録も記載されている。多職種による診療・ケアでは、ICT、NST、褥瘡回診、緩和ケアチームなどの専門チームが実践し、積極的にチーム医療を展開している。

５．医療安全

医療安全対策室を設置し、室長と専従の医療安全管理者を中心に多職種で組織横断的に活動している。インシデント・アクシデントは医療事故報告システムで収集し、医療安全管理者が確認のうえ、内容に応じて対応している。医療事故発生時の対応手順をマニュアルに明記し、患者救命など最善の処置を最優先とし、各責任者への報告体制を整備している。

入院患者の確認はフルネームの名乗りとリストバンドで照合し、リストバンド装着不能時のルールと方法を定めて運用している。情報伝達エラー防止のため口頭指示は原則行わないことを定めている。ハイリスク薬を定義し、保管方法を統一している。カリウム製剤はプレフィルド製剤のみで、使用の都度払い出している。入院時に転倒・転落アセスメントシートでリスク評価を行い、ハイリスク患者に看護計画を立案し対策を実施している。人工呼吸器など医療機器使用時は、看護師と臨床工学技士がマニュアルとチェックリストに沿って動作を確認している。院内救急コードを設定し、各部署特有の急変対応に応じたシミュレーション訓練を定期的に実施している。

６．医療関連感染制御

医療関連感染制御の体制は、感染制御室に ICT と AST を設置して構築し、活動内容を規定している。院内感染予防マニュアルを整備し、標準予防策や主要な病原体別の感染対策などの項目を記載している。医療関連感染制御への取り組みとして、院内外の感染症発生状況を迅速に把握し、各種耐性菌の動向を把握・分析して対応している。

アウトブレイク発生時の対応手順を定め、多くの感染症に対する具体的行動指針を整備している。各部署にリンクスタッフを配置し、標準予防策や感染経路別予防策などの現場での徹底や手指消毒剤消費量のモニタリングを行っている。感染性廃棄物の分別・廃棄や、血液などの汚染されたリネンの取り扱いは適切である。届け出制の抗菌薬を定め、AST が適正使用を評価している。AST は適切な抗菌薬への変更や投与期間などを医師に提言し、長期投与や同系統薬剤の継続使用についても介入している。

７．地域への情報発信と連携

広報渉外課が病院の広報を担当し、広報誌・年報・院内誌の作成やホームページ・SNS 等の管理・企画を、他部署と連携し行っている。ホームページでは、各診療科の手術件数等の診療実績や病院情報の公表、独自の臨床指標を年度ごとに更新し、患者が必要な情報を取得できる内容となっている。

患者サポートセンター内の地域医療連携室が、地域医療機関との窓口を担っている。定期的な開業医への訪問には、院長や救急・産科・小児科の医師が同行し、交流の場を設けている。紹介患者は病院のホームページから直接受診予約が可能で、スムーズな受診体制が整っている。地域住民や医療者への情報発信は、広報渉外課が中心となって行っている。地域医療連携講演会を中心に、地域に向けた医療に関

する様々なイベントの企画・運営や地域へ出向いての教育・啓発活動を、多職種で積極的に行っており、地域の中核病院としての役割を十分に果たしていることは、高く評価できる。

８．チーム医療による診療・ケアの実践

受診情報をホームページで随時提供している。外来担当医は診療内容を医師や職種間で共有している。内視鏡検査など診断的検査を安全に実施している。入院は、担当医が必要性を判断し、説明と同意を得て決定している。入院診療計画書を多職種で作成し、リスク共有のうえ速やかに交付している。患者相談窓口を整備し、入院相談にも対応している。入院時にスクリーニングし、多職種で状態と意向を把握している。医師は各種ミーティングを通じて情報交換している。患者ニーズに基づく看護計画を実施し、多職種と連携している。全病棟に薬剤師を配置し、抗がん剤や抗菌薬投与時の手順がある。医学的根拠に基づき、安全に輸血療法を実施している。手術適応や麻酔方法を検討し、同意を取得している。NICU など活用し、重症者を管理している。入院時全患者の褥瘡リスクを評価し対応策を実施している。入院患者の栄養評価を看護師と管理栄養士が行っている。緩和ケアチームは評価のうえ症状緩和に努めている。リハビリは個別性を考慮し、指標で評価・見直しを行う。身体拘束最小化に向けた取り組みは高く評価できる。入院時・退院時・終末期において、評価や支援会議で情報共有し対応している。

９．良質な医療を構成する機能

薬剤の調剤と鑑査を日中は別の薬剤師が行い、注射薬一施用ごとの取り揃え率は100％である。検体検査は業務委託で、生理機能検査とともに適切に実施している。画像検査は 24 時間対応で、重要所見は主治医へ連絡し、未読を管理している。HACCP に準じた衛生管理を行って、快適な食事を提供している。療法士は主治医・病棟スタッフと意見交換や会議を行い、情報を共有している。診療情報は診療情報管理室が管轄で、電子カルテにより一元管理している。医療機器を一元管理し、緊急やトラブルに 24 時間対応している。使用済み器材の洗浄・滅菌は、中央で保管・管理している。

病理診断業務を外部へ委託し、適切に実施している。生理検査科が輸血業務を担当し、輸血機能を発揮している。手術スケジュールを管理し、帝王切開など緊急手術に常に対応できる体制がある。北海道で最大規模の NICU を擁し、集中治療機能を発揮している。救急科を新設して、救急医療機能を発揮できるよう部門の強化を図っている。

１０．組織・施設の管理

各部署にヒアリングを実施し、次年度事業計画を含む予算書案を作成し、承認は総合企画調整会議を経て法人理事会で最終的に得ている。患者受付、会計、入退院など各窓口のマニュアルが整備されており、統一した対応が可能である。休日・夜間は警備員による預かり金対応を実施している。委託業者の業務評価は、統一項目

を用いて総務課が行っている。直近では、夜間警備の委託費増を契機に、総合企画調整会議で委託業者の選定と変更を行っている。

施設課が施設・設備の計画的保守と修繕を行い、緊急時に対応できる体制を整えている。良好な衛生環境を維持し、感染性廃棄物を区分して保管・処理している。医療材料は医療材料購入検討委員会で、薬剤は薬事委員会で選定している。医療機器の臨時購入は、用度課に申請し総合企画調整会議で承認を得ている。防災・防火委員会がマニュアル・BCP 策定、訓練、防火管理、自家発電設備の確保などを行い、災害対応体制を整備・運用している。施錠管理、面会の予約制、院内巡視などの保安業務を行っている。

1　患者中心の医療の推進

評価判定結果

1.1	患者の意思を尊重した医療	
1.1.1	患者の権利を明確にし、権利の擁護に努めている	B
1.1.2	患者が理解できるような説明を行い、同意を得ている	A
1.1.3	患者と診療情報を共有し、医療への患者参加を促進している	S
1.1.4	患者支援体制を整備し、患者との対話を促進している	S
1.1.5	患者の個人情報を適切に取り扱っている	B
1.1.6	臨床における倫理的課題について継続的に取り組んでいる	B
1.2	地域への情報発信と連携	
1.2.1	必要な情報を地域等へわかりやすく発信している	A
1.2.2	地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療関連施設等と適切に連携している	A
1.2.3	地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている	S
1.3	患者の安全確保に向けた取り組み	
1.3.1	安全確保に向けた体制が確立している	A
1.3.2	安全確保に向けた情報収集と検討を行っている	A
1.3.3	医療事故等に適切に対応している	A
1.4	医療関連感染制御に向けた取り組み	
1.4.1	医療関連感染制御に向けた体制が確立している	A
1.4.2	医療関連感染制御に向けた情報収集と検討を行っている	A
1.5	継続的質改善のための取り組み	
1.5.1	業務の質改善に向け継続的に取り組んでいる	A

1.5.2	診療の質の向上に向けた活動に取り組んでいる	A
1.5.3	患者・家族の意見を活用し、医療サービスの質向上に向けた活動に取り組んでいる	A
1.5.4	倫理・安全面などに配慮しながら、新たな診療・治療方法や技術を導入している	A
1.6	療養環境の整備と利便性	
1.6.1	施設・設備が利用者の安全性・利便性・快適性に配慮されている	A
1.6.2	療養環境を整備している	A
1.6.3	受動喫煙を防止している	A

2　良質な医療の実践１

評価判定結果

2.1	診療・ケアにおける質と安全の確保	
2.1.1	診療・ケアの管理・責任体制が明確である	B
2.1.2	診療記録を適切に記載している	B
2.1.3	患者・部位・検体などの誤認防止対策を実践している	B
2.1.4	情報伝達エラー防止対策を実践している	B
2.1.5	薬剤の安全な使用に向けた対策を実践している	B
2.1.6	転倒・転落防止対策を実践している	A
2.1.7	医療機器を安全に使用している	A
2.1.8	患者等の急変時に適切に対応している	A
2.1.9	医療関連感染を制御するための活動を実践している	B
2.1.10	抗菌薬を適正に使用している	A
2.1.11	患者・家族の倫理的課題等を把握し、誠実に対応している	A
2.1.12	多職種が協働して患者の診療・ケアを行っている	A
2.2	チーム医療による診療・ケアの実践	
2.2.1	来院した患者が円滑に診察を受けることができる	B
2.2.2	外来診療を適切に行っている	A
2.2.3	診断的検査を確実・安全に実施している	A
2.2.4	入院の決定を適切に行っている	A
2.2.5	診断・評価を適切に行い、診療計画を作成している	B
2.2.6	患者・家族からの医療相談に適切に対応している	A
2.2.7	患者が円滑に入院できる	A

2.2.8	医師は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.9	看護師は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.10	投薬・注射を確実・安全に実施している	A
2.2.11	輸血・血液製剤投与を確実・安全に実施している	A
2.2.12	周術期の対応を適切に行っている	A
2.2.13	重症患者の管理を適切に行っている	A
2.2.14	褥瘡の予防・治療を適切に行っている	A
2.2.15	栄養管理と食事支援を適切に行っている	A
2.2.16	症状などの緩和を適切に行っている	A
2.2.17	リハビリテーションを確実・安全に実施している	A
2.2.18	身体拘束（身体抑制）の最小化を適切に行っている	S
2.2.19	患者・家族への退院支援を適切に行っている	A
2.2.20	必要な患者に継続した診療・ケアを実施している	A
2.2.21	ターミナルステージへの対応を適切に行っている	A

3　良質な医療の実践２

評価判定結果

3.1	良質な医療を構成する機能１	
3.1.1	薬剤管理機能を適切に発揮している	A
3.1.2	臨床検査機能を適切に発揮している	A
3.1.3	画像診断機能を適切に発揮している	A
3.1.4	栄養管理機能を適切に発揮している	A
3.1.5	リハビリテーション機能を適切に発揮している	A
3.1.6	診療情報管理機能を適切に発揮している	A
3.1.7	医療機器管理機能を適切に発揮している	A
3.1.8	洗浄・滅菌機能を適切に発揮している	B
3.2	良質な医療を構成する機能２	
3.2.1	病理診断機能を適切に発揮している	A
3.2.2	放射線治療機能を適切に発揮している	NA
3.2.3	輸血・血液管理機能を適切に発揮している	A
3.2.4	手術・麻酔機能を適切に発揮している	B
3.2.5	集中治療機能を適切に発揮している	A
3.2.6	救急医療機能を適切に発揮している	A

4　理念達成に向けた組織運営

評価判定結果

4.1	病院組織の運営	
4.1.1	理念・基本方針を明確にし、病院運営の基本としている	A
4.1.2	病院運営を適切に行う体制が確立している	B
4.1.3	計画的・効果的な組織運営を行っている	A
4.1.4	院内で発生する情報を有効に活用している	A
4.1.5	文書管理に関する方針を明確にし、組織として管理する仕組みがある	A
4.2	人事・労務管理	
4.2.1	役割・機能に見合った人材を確保している	A
4.2.2	人事・労務管理を適切に行っている	A
4.2.3	職員の安全衛生管理を適切に行っている	B
4.2.4	職員にとって魅力ある職場となるよう努めている	A
4.3	教育・研修	
4.3.1	職員への教育・研修を適切に行っている	A
4.3.2	職員の能力評価・能力開発を適切に行っている	A
4.3.3	専門職種に応じた初期研修を行っている	A
4.3.4	学生実習等を適切に行っている	A
4.4	経営管理	
4.4.1	財務・経営管理を適切に行っている	A
4.4.2	医事業務を適切に行っている	A
4.4.3	効果的な業務委託を行っている	A

4.5	施設・設備管理	
4.5.1	施設・設備を適切に管理している	A
4.5.2	購買管理を適切に行っている	A
4.6	病院の危機管理	
4.6.1	災害時等の危機管理への対応を適切に行っている	A
4.6.2	保安業務を適切に行っている	A

年間データ取得期間： 2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
時点データ取得日： 2025 年 8 月 1 日

I 病院の基本的概要

I-1 病院施設

I-1-1 病院名 ： 社会医療法人母恋 天使病院

I-1-2 機能種別 ： 一般病院2

I-1-3 開設者 ： 医療法人

I-1-4 所在地 ： 北海道札幌市東区北12条東3-1-1

I-1-5 病床数

	許可病床数	稼働病床数	増減数(3年前から)	病床利用率(%)	平均在院日数(日)
一般病床	260	284	+0	71.6	11.6
療養病床					
医療保険適用					
介護保険適用					
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
総数	260	284	+0		

I-1-6 特殊病床・診療設備

	稼働病床数	3年前からの増減数
救急専用病床		
集中治療管理室 (ICU)		
冠状動脈疾患集中治療管理室(CCU)		
ハイケアユニット(HCU)		
脳卒中ケアユニット(SCU)		
新生児集中治療管理室 (NICU)	15	+0
周産期集中治療管理室 (MFICU)	6	+0
放射線病室		
無菌病室	5	+0
人工透析	24	+9
小児入院医療管理料病床	31	+0
回復期リハビリテーション病床		
地域包括ケア病床		
特殊疾患入院医療管理料病床		
障害者施設等入院基本料算定病床		
緩和ケア病床		
精神科隔離室		
精神科救急入院病床		
精神科急性期治療病床		
精神療養病床		
認知症治療病床		

I-1-7 病院の役割・機能等 ：

DPC対象病院(DPC標準病院群),地域周産期母子医療センター

I-1-8 臨床研修

I-1-8-1臨床研修病院の区分

医科 ■ 1) 基幹型 ■ 2) 協力型 □ 3) 協力施設 □ 4) 非該当
歯科 □ 1) 単独型 □ 2) 管理型 □ 3) 協力型 □ 4) 連携型 □ 5) 研修協力施設
■ 非該当

I-1-8-2研修医の状況

研修医有無 ● 1) いる 医科 1年目： 7 人 2年目： 5 人 歯科： 人
○ 2) いない

I-1-9 コンピュータシステムの利用状況

電子カルテ ● 1) あり ○ 2) なし 院内LAN ● 1) あり ○ 2) なし
オーダリングシステム ● 1) あり ○ 2) なし PACS ● 1) あり ○ 2) なし

I-2 診療科目・医師数および患者数

I-2-1 診療科別 医師数および患者数・平均在院日数

診療科名	医師数（常勤）	医師数（非常勤）	1日あたり外来患者数（人）	外来診療科構成比(%)	1日あたり入院患者数（人）	入院診療科構成比(%)	新患割合(%)	平均在院日数（日）	医師1人1日あたり外来患者数（人）	医師1人1日あたり入院患者数（人）
内科	0	0	0.61	0.10	0.00	0.00	2.03	0.00	0.00	0.00
呼吸器内科	3	0	41.67	6.75	16.50	8.87	17.03	13.94	13.89	5.50
循環器内科	3	0	85.53	13.86	14.18	7.62	1.88	14.35	28.51	4.73
消化器内科（胃腸内科）	5	0.6	58.84	9.54	23.69	12.73	7.36	12.17	10.51	4.23
腎臓内科	1	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
糖尿病内科（代謝内科）	2	0.5	63.08	10.22	10.08	5.42	2.25	15.45	25.23	4.03
血液内科	2	0	11.79	1.91	10.47	5.63	5.97	19.20	5.90	5.23
小児科	6	1.1	71.72	11.62	17.09	9.18	13.35	5.50	10.10	2.41
精神科	1	0	15.47	2.51	0.00	0.00	2.55	0.00	15.47	0.00
整形外科	2	0	45.92	7.44	23.20	12.47	13.17	23.92	22.96	11.60
形成外科	0	0	0.77	0.12	0.00	0.00	11.83	0.00	0.00	0.00
眼科	3	0	60.17	9.75	3.54	1.90	7.40	2.83	20.06	1.18
耳鼻咽喉科	3	0	67.99	11.02	10.20	5.48	12.38	7.50	22.66	3.40
小児外科	2	0	9.64	1.56	0.81	0.43	32.02	1.24	4.82	0.40
産婦人科	9	0.5	64.14	10.40	24.61	13.23	4.36	13.34	6.75	2.59
麻酔科	3	0	0.72	0.12	0.00	0.00	3.45	0.00	0.24	0.00
救急科	1	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
外科・乳腺外科	4	0	18.91	3.06	13.39	7.20	16.21	13.21	4.73	3.35
健診室	0	0.5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
NICU科	4	0	0.00	0.00	18.29	9.83	0.00	38.48	0.00	4.57
研修医	12	0								
全体	66	3.2	616.97	100.00	186.04	100.00	8.61	11.63	8.92	2.69

I-2-2 年度推移

	実績値			対 前年比%	
	昨年度	2年前	3年前	昨年度	2年前
年度(西暦)	2024	2023	2022	2024	2023
1日あたり外来患者数	616.97	637.88	628.40	96.72	101.51
1日あたり外来初診患者数	53.12	51.80	47.75	102.55	108.48
新患率	8.61	8.12	7.60		
1日あたり入院患者数	186.04	154.57	142.79	120.36	108.25
1日あたり新入院患者数	15.88	15.44	13.87	102.85	111.32